指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市シルバーセンター		
2 指定管理者	仙台市健康福祉事業団・東北共立グループ		
3 指定期間	令和5年4月1日~令和8年3月31日		
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和6年度 0人(前年度比 0%) 令和5年度 102,505人(前年度比 119.6%) 令和4年度 85,685人(前年度比 136.4%) 《事業》 ・総合相談(電話相談)422人 市民向け介護講座 臨時事務所等 6講座 41回 1,915人 福祉用具の日・介護の日記念イベント 福祉プラザ 200人 スポット展示:福祉用具展示・相談会 宮城野区役所 5日間 135人 :高齢者生きがい健康祭 勾当台公園 118人		
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 指定管理者に支払った費用 182,361千円 (297,975千円) その他市が負担した費用 0千円 (424千円) (収入》 使用料収入 0千円 (14,512千円) その他収入 2千円 (223千円) 		
6 利用者の声	《実施状況》 シルバーセンター1階に「市長への手紙」を設置している。また、講座受講者に対してもアンケートを実施し、結果を事業 内容に反映させている。		

二 **管理運営に係る評価**(モニタリングシートの結果によって評価)

	評価分野	5評価 (モニタリンクシートの結果によって評価) 所見	評価
Ι	総則	シルバーセンターの設置目的を踏まえた基本方針に基づき施設運営がなされており、職員も設置目的を適切に理解している。また、豊齢社会の実現に向け、高齢者の健康増進維持や生きがいづくりに関する企画立案、施設の公平・公正な利用、福祉用具の展示などを始め、高齢者の視点に立った施設運営を行っている。	45/45
п	施設の運営管理 体制	必要数の職員が配置されており、ミーティング等により施設利用予定や他の職員の業務状況を 把握している。また、情報セキュリティへの対策としては、管理責任者を定めるとともに、職員への 周知啓発を行うなど、個人情報保護に対する体制を整えている。市民利用施設予約システムの管 理責任者を定め、システム使用職員を特定するとともに、異動等に際しては職員教育を実施し、情 報セキュリティ対策を適切に講じている。施設使用上の事故発生に備え、連絡体制や職員の役割 分担を定め、災害リスクについてもマニュアル策定等実施している。	31/31
Ш	施設・設備の維 持管理	利用者の安全・安心・快適な利用を維持するため、建物等の保守点検や施設内外の清掃を適切に行い、事故防止のために、館内巡回も行われている。なお、当該施設は令和6年度から大規模改修の工事を行っており、設備等の修繕や補修については、必要性を精査しながら実施している。	24/24
IV	サービスの質の 向上	利用者の意見や苦情を把握するため 「市長への手紙」を窓口に設置しているほか、講座受講者に対してもアンケートを行っている。 また、ホームページやリーフレット、情報誌発行などを通じて利用者への情報提供も積極的に行っている。	28/28
v	施設固有の基準	施設の使用許可や使用料の徴収・還付などを仙台市の条例や規則等に基づき適正に実施している。 商業施設などと協働しアウトリーチ事業の推進を行うことで、高齢者の生きがいづくり・健康づくり の支援を積極的に行っている。	17/17

三 評価総括

二 肝心秘位				
《指定管理者(仙台市健康福祉事業団・東北共立グループ)による自己評価》				
【施設管理運営について】 大規模攻修工事に関する仙台市や関係諸機関等との調整、工事定例会への参加、現場確認などを通じ進捗管理を行った。 臨時事務所及び備品倉庫の確保、契約、運用と保管備品の定期的な点検、維持管理を適切に行った。 【総合相談センターについて】 多様化・複雑化する高齢者やその家族が抱える悩みに対し、置かれた状況や訴えに寄り添い傾聴と各種支援制度や窓口機関の紹介など情報提供を行った。 【介護研修・福祉用具展示について】 市民向けう護藩座や福祉用具の相談・展示を通じて、介護知職や福祉用具の周知・普及啓発、情報提供に努めた。改修工事期間のため、様々な地域に出向いて行う地域介護講座や学校向け介護体験講座等外部事業の充実を図り、より多くの市民へ向けた展開を行った。				
《施設設置者(仙台市)による評価》	総合評価			
令和6年度の管理運営は、協定書及び仕様書に従い適切・良好に行われた。	小公 口 B L IMI			
令和6年度より大規模改修工事を実施している中、関係諸機関等との調整、工事定例会への参加、現場確認などを通 じ、進捗管理を適切に行った。 大規模改修工事に伴い、臨時事務所及び備品倉庫の確保、契約、運用と保管備品の定期的な点検、維持管理を適 切に行った。 市民向け介護講座や福祉用具の相談・展示を通して、介護や福祉用具の理解促進に取り組んだ。また、商業施設と 協働し健康づくり、生きがいづくりの周知啓発活動を行った。	S			
四 その他特記事項 (上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する)				
特記事項				

◎ 評価担当課(施設所管課):健康福祉局保険高齢部高齢企画課